

2020 年秋 空中庭園 天体スケジュール

◆10月1日 中秋の名月（十五夜）

2020年の十五夜 今年も、翌日（2日）が満月。その1日前でほぼまんまるの満月に見えます。夜風を浴びながら、澄んだ夜空に浮かぶ名月を眺めて秋の風情を感じてみてはいかがでしょうか。

★中秋の名月とは・・・旧暦の8月15日の夜に見える月（十五夜）にお月見をする習わし。

1年の中で一番綺麗なまんまるの月が見える日で、毎年日にちが変わります。

中秋の名月を愛でる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。

10月29日の十三夜の月と合わせてお月見を楽しみましょう。

★空中庭園からのお月見の楽しみ方・・・屋上「ルミ・スカイ・ウォーク」の東の方角にスタンバイ。

（17:50頃～）グランフロントのビル群の奥、生駒山を越え、ビル群の間から上ってくるお月さまを探しましょう。[*大阪の月の出 17:46]

*満月に近いほど、肉眼で観るのが一番綺麗。天体望遠鏡で覗くと少し眩しいので要注意！

◆10月2日 満月（十六夜）

10月1回目の満月。前日の「中秋の名月」よりも遅く、ためらうように出てくることから十六夜（いざよい）と名付けられました。前日より少し遅く、18:15頃から東の空に上ってくる満月を眺めましょう。

[*大阪の月の出 18:12]

◆10月6日 火星最接近

赤く明るく輝き、夜空で存在感を増している火星 ☆およそ2年2ヶ月毎に地球に接近し、ちょうどこの日に最接近！観察の好機を迎え、いつもより明るく輝く火星の姿をぜひ見つけてみましょう。

★火星最接近データ・・・火星と地球との距離は約6,207万km。視直径：約22.6秒角

明るさ：マイナス2.6等☆（木星より明るくなる！）

★火星とは・・・地球の一つ外側を公転している惑星。地球の半分ほどの大きさ。

表面が「錆びた鉄」を多く含んでいるので「赤く」見える。

★見ごろ・・・9月上旬～12月末頃（年内）

マイナス2等以上の明るさを保ち、地球に近づいているため大きく見えて観察しやすい時期。

★空中庭園からの火星の楽しみ方・・・屋上「ルミ・スカイ・ウォーク」の東の方角に赤く明るく輝く火星を見つめましょう！ビル群の奥、空高い位置に肉眼でも見られ、夜空にひと際明るく存在感を放っている。天体望遠鏡で観ると、「大シルチス」という黒い模様が見えるかも。☆火星観察[星空観望会]：

10月24日（土）19:00～21:00 開催予定

◆10月21日～24日(土)頃 明石海峡大橋に沈む夕陽

「日本の夕陽百選」に選ばれている空中庭園展望台からの夕陽。(※2004年に選定)
1年に2度(2月と10月)、明石海峡大橋の真ん中に沈む夕陽が望める最高のシャッターチャンスが訪れます。お見逃しなく!

[日の入り 21日 17:17 22日 17:16 23日 17:15 24日 17:13]

◆10月21日頃(～前後1週間) オリオン座流星群

秋から冬にかけての風物詩とも言われ、鮮やかに夜空を彩る流星群☆21日夜をピークに、前後1週間は月明かりの影響もなく好条件の下、明るく輝く流れ星を探す絶好のチャンスです。街の灯りが多い都会での観測はかなり難しいのですが、まれに出現する「火球」(とても明るい流れ星)が見られればラッキー!

★オリオン座流星群とは・・・全流星群の中で2番目に速度が速い流星群。

明るい流星が多いことが特徴で比較的観測しやすい。

◆10月24日 空中庭園☆星空 CLUB「月」のお話@40F

(18:00～20:00 開催予定)

星のソムリエによるお話のテーマは、「月」。中秋の名月から始まり、31日の2回目の満月までの10月の「名月 month」に合わせ、一年で最も美しい月のお話をたっぷりご紹介いたします。

また、見ごろの火星・木星・土星などの惑星や秋の星座の解説も行い、空中庭園からの楽しみ方もご案内。学んだ後は、屋上「ルミ・デッキ」に特設の天体望遠鏡で、実際に観測してみましよう。

[お話：各回約15分・定員：10名・入替制]

*コロナ対策：消毒用アルコールの設置・マスクの着用・椅子の位置 間隔を空けて設置

各回毎に間で清掃(除菌シートで椅子等の清掃 etc…)

◆10月24日 空中庭園☆星空 CLUB「星空観望会」@屋上「ルミ・デッキ」

(19:00～21:00 開催予定)

星のソムリエによる天体望遠鏡を使った星空観望会を開催します。

見ごろの火星と木星と土星を対象に、東の空に輝く火星など特設の天体望遠鏡を覗いて観測しましょう。

望遠鏡へはお1人ずつ順番にご案内します。

[ルミ・デッキ入場：定員約10名(スタッフ含む)・入替制]

*コロナ対策：消毒用アルコールの設置・マスクの着用・天体望遠鏡の除菌

(ご家族・グループ毎の使用の間に除菌(シートで拭く)を挟みながら順番にご案内する。)

◆10月29日 十三夜

中秋の名月から約1ヶ月後の名月。

「十三夜に曇り無し」と言われるほどお月見日和に

なる日が多く、美しい名月を愛でながら深まる秋を体感しましょう。[*大阪の月の出 16:16]

★十三夜とは・・・旧暦9月13日の夜に見える月。十三夜のお月見は日本だけの行事と言われ、十五夜と合わせて観ると良いことがあると言われていました。

◆10月31日 ブルームーン

10月2回目の満月。

一年で一番地球から離れた満月に当たるので、小さく見えます。

最小の満月で別名「マイクロムーン」とも呼ばれています。実際はブルーには見えないのですが、レアな月が持つパワーで願い事を引き寄せ、幸せを招くとされているブルームーンに、願いを込めると良いことがあるかも☆ [*大阪の月の出 17:09]

★ブルームーンとは・・・1ヶ月に2回満月がある月の2度目に迎える満月が「ブルームーン」と呼ばれ、およそ3年に1度観られる。次回は、2023年8月31日。

◆11月1日 観月会（満月の翌日）

11月最初の観月会。ブルームーン（満月）の翌日の月。

明るく輝くまあるい月を見上げてみましょう。[大阪の月の出 17:38]

◆11月7日 空中庭園☆星空 CLUB「月」のお話@40F

(18:00～20:00 開催予定)

星のソムリエによるお話のテーマは、「月」。

名月が続く今秋に合わせて、美しい月のお話を今月も引き続きご紹介します。

また、火星・木星・土星などの惑星や秋冬の星座の解説も行い、空中庭園からの楽しみ方もご案内。

*次回の星空観望会は、11月28日（土）予定。（対象：夜空に輝く火星と満月に近い月）

[お話：各回約15分・定員：10名・入替制]

*コロナ対策：消毒用アルコールの設置・マスクの着用・椅子の位置 間隔を空けて設置

各回毎に清掃（除菌シートで椅子等の清掃 etc…）